



令和8年5月24日(日) 第2回
フラワータウンセンター地区
「10年後のまちの未来予想図」ワークショップを
開催しました

第2号

掲示期間:

みんなの意見を募集しています



第2回ワークショップでは、第1回で出された意見をもとに、「地域資源」「心配事」「将来アイデア」をつながけながら、フラワータウンに必要な7つのまちの将来像に整理されました。



★あなたならどんなまちの将来を描きますか？
7つの将来像の中から関心のある項目を選んで、ふせんにご記入ください！

フラワータウン再生レポート
第2号の閲覧はこちら



7つのまちの将来像

① いきたくなる居場所

第2回参加者の意見の一部

- ・中学生や高校生、学生が軽く食べたり、待ち合わせたりできる場所がある
- ・子ども、学生、若い世代、地域の人がある交流の場が必要
- ・ペットと関連する場所や施設がある

ここにふせんを
貼ってね

② 教育・学び

第2回参加者の意見の一部

- ・人と自然の博物館とのコラボによって、自然を生かした学びが広がる。
- ・関西学院大学の学生や中学生など、学生が地域活動に関わると、学びにもつながる



ここにふせんを
貼ってね

③ 非日常のにぎわい

第2回参加者の意見の一部

- ・地域活動やイベントを通じて多世代交流を生む
- ・深田公園を生かして、子どもを中心に賑わいをつくれるようにしたい

ここにふせんを
貼ってね



④ 移動

第2回参加者の意見の一部

- ・広域交通の強みだけでなく、日常生活に必要な近距離移動の充実が必要
- ・バスの便は多いが近場の移動は料金が
高い、または不便

ココにふせんを
貼ってね

⑤ 若者の定着

第2回参加者の意見の一部

- ・若い世代や子育て世代が住み、働き、
活動できる環境が必要
- ・学生が住めるアパートがあれば、雇用や
飲食店の発展につながる

ココにふせんを
貼ってね

⑥ みんなで考えるまち整備

第2回参加者の意見の一部

- ・公園や施設を使って、子どもが集まれる
場所をつくる
- ・多世代参加型で環境整備を行うことで、
人とのふれあいが生まれる

ココにふせんを
貼ってね

⑦ 身近で気軽な買い物環境

第2回参加者の意見の一部

- ・高齢になるほど身近に生活に必要なもの
を買い求める場所や宅配を受け取れる場所の
重要性が高まる

ココにふせんを
貼ってね



ワークショップについて

概要

フラワータウンがこれからもあらゆる世代が暮らし続けたいと思えるまちであるために、センター地区の理想的な将来の姿＝“未来予想図”を描くワークショップを開催します。
参加者同士の対話を通じて、現在まちにあるもの、これから必要なものを整理し、思い描く現実と将来像とのギャップを共有しながら、持続的なまちづくりの方向性を考えます。

応募申込について

- ・募集定員は各回40人です。
- ・本ワークショップは各回申込制です。
- ・応募多数の場合は、世代・居住地域等のバランスを考慮のうえ抽選し、参加者を決定します。
- ・先着順ではありません。

会場

兵庫県立人と自然の博物館コレクションルーム

★会場内にキッズスペースを設けています。

はじめての方でも安心してご参加いただけます
各回の冒頭でこれまでの内容をわかりやすくご説明します

全体スケジュール

- | | |
|-----|---|
| 第1回 | 令和8年4月29日（水・祝）
現状共有・思いの発散
※終了しました |
| 第2回 | 令和8年5月24日（日）
意見の整理・深掘り
※終了しました |
| 第3回 | 令和8年6月28日（日）
価値・方向性の整理 |
| 第4回 | 令和8年7月25日（土）
未来予想図のたたき台作成 |

第3回～第4回
応募申込いただけます

申込みフォーム



第3回 申込〆切 6/22
第4回 申込〆切 7/20

みんなの意見募集はWEBからも
ご回答いただけます

WEBからの投稿は
こちら



< 意見パネル設置場所 >

エキマエアキチ
フラワータウン市民センター
多世代交流館ふらっと前
サンフラワー1F

主催
三田市 都市デザイン課
企画・運営協力
高田知紀氏、福本優氏（人と自然の博物館研究員）
関西学院大学建築学部国際都市計画・デザイン研究室
株式会社北摂コミュニティ開発センター

発行元・連絡先 三田市 都市デザイン課ニュータウン再生係
mail tosi@city.sanda.lg.jp TEL 079-559-5127